

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和5年度～令和9年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（いなだに） 伊那谷森林計画区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 なんしん 南信森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、長野県の南東部の天竜川上流に位置し、伊那市を含む5市8町10村に所在する約71千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区の、森林現況はコメツガ等の亜高山性の針葉樹を主体とした天然林が多く、人工林24%、天然林63%、その他13%となっている。人工林の樹種別面積割合は、カラマツ76%、ヒノキ17%、その他7%で、カラマツが占める割合がきわめて高い地域である。</p> <p>本地域は、下流部の生活用水等の重要な水源地帯であるとともに、大断層の糸魚川－静岡構造線と中央構造線の二大構造線が走るなど、複雑な地形、地質、急峻な地形等の条件から、水質保全や土砂の流出・崩壊の防備等の国土保全の役割が重要となっている。</p> <p>このほか、北八ヶ岳自然休養林、八ヶ岳連峰、霧ヶ峰周辺、中央アルプス等の優れた自然景観等に恵まれ、さらに、中京圏の重要な水源地としての水源の涵養や国土保全等の公益的機能の発揮のために重要な役割を担っている地域である。このことから、山地災害の軽減や自然環境の保全及び風致景観の維持などの公益的機能を高度に発揮させることが求められている。</p> <p>本事業においては本計画区内の国有林の有する山地保全機能や水源涵養機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化防止及び地域の活性化にも積極的に寄与するため、間伐等の森林整備等を積極的に推進するとともに、それに必要な路網の開設・改良等を実施し健全な森林を育成しつつ、公益的機能の維持増進を図ることを目的とする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>132ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,238ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.44km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.32km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 3,393,931千円（税抜き 3,085,392千円）</p>			森林整備	更新面積	132ha		保育面積	3,238ha	路網整備	開設延長	4.44km		改良延長	1.32km
森林整備	更新面積	132ha													
	保育面積	3,238ha													
路網整備	開設延長	4.44km													
	改良延長	1.32km													
費用便益分析	総便益（B）	9,030,722千円													
	総費用（C）	3,787,114千円													
	分析結果（B/C）	2.38													

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められ、また事業の実施環境等が整っていることから、本事業を実施することが妥当と判断される。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資すること、また、事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業の振興に寄与していることから、その必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとし、路網整備では、林業機械での長距離運搬となっている非効率な箇所を優先的に、トラック通行可能な林道に整備することによりコストの縮減を図ることとしている。 これらについて、費用便益分析の結果からも事業の十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 計画的な保育等の実施、森林整備と連携した路網の整備を通じて、多面的機能を発揮する健全な森林整備に資するものであり、また、森林施業の効率化、低コスト化についても民国連携の取組を通じて民有林への普及を図ることとしている。加えて、木材の安定供給を行うなど山村の活性化にも資するものとなっていることから、有効な事業であると認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：長野県

施行箇所：伊那谷森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,945,132	
	流域貯水便益	715,100	
	水質浄化便益	2,646,010	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,043,787	
環境保全便益	炭素固定便益	427,627	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	19,140	
	木材生産確保・増進便益	464,345	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	769,581	
総 便 益 (B)		9,030,722	
総 費 用 (C)		3,787,114	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,030,722}{3,787,114} = 2.38$		

森林環境保全整備事業 伊那谷森林計画(長野県) 事業概要図

森林整備事業（下刈前）



（下刈後）



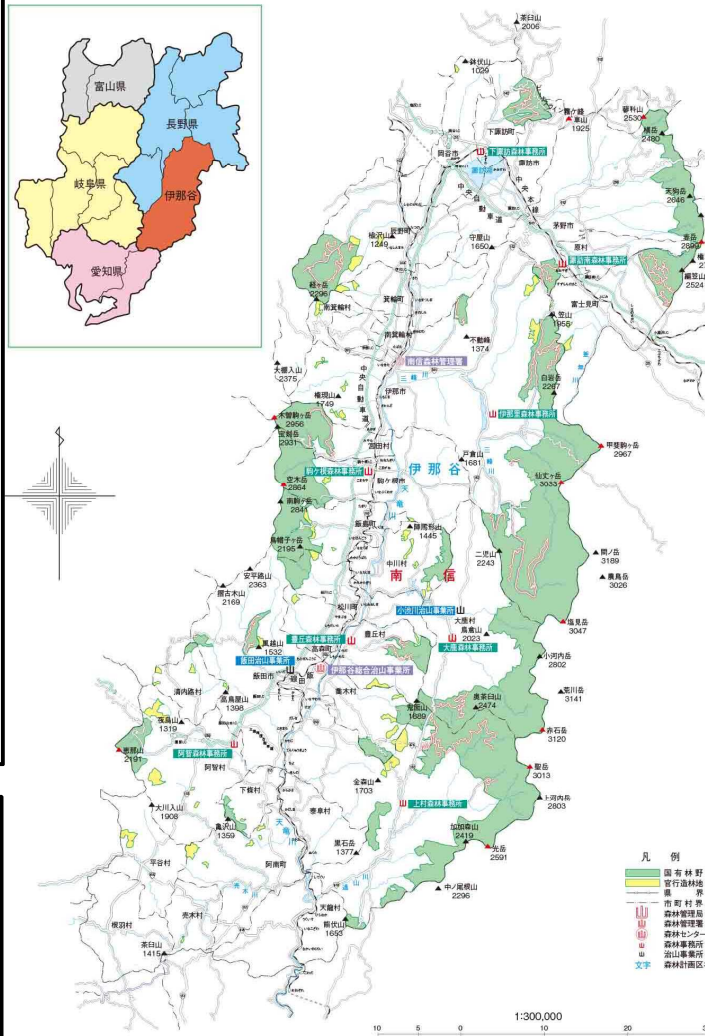
令和4年度 南信森林管理署 下刈

森林整備事業（間伐後）



令和4年度 南信森林管理署 保育間伐

伊那谷森林計画区の国有林位置図



路網整備事業（特殊修繕工事）



令和3年度 南信森林管理署 観音沢林業専用道特殊修繕

路網整備事業（林道改良工事）



令和3年度 南信森林管理署 西谷林道改良工事